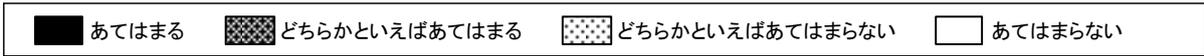


平成30年度 岩倉中学校 学校評価(生徒・保護者・教職員アンケートの結果と考察)



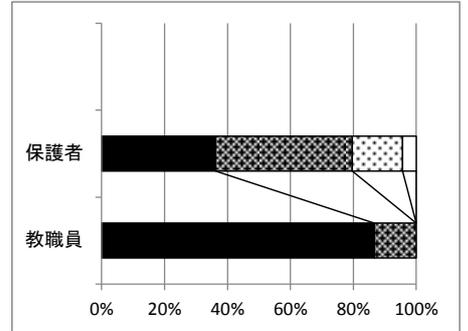
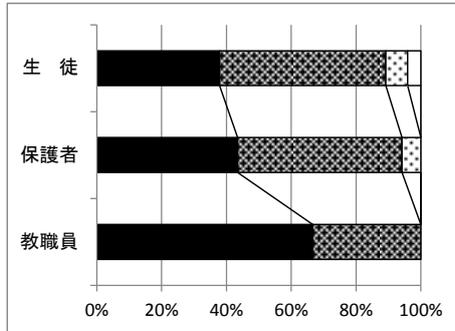
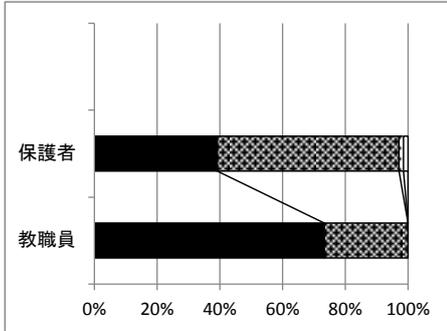
調査回答者数 生徒:74名, 保護者:69名, 教職員:11名

1 学校に関する項目

【1-1】 学校は、授業や諸行事等、教育活動がよく公開されている。

【1-2】 魅力ある学校行事(体育祭・文化祭・合唱コンクール等)が行われている。

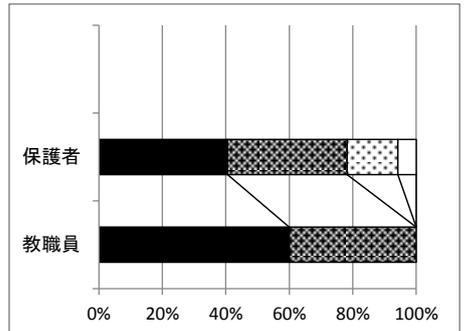
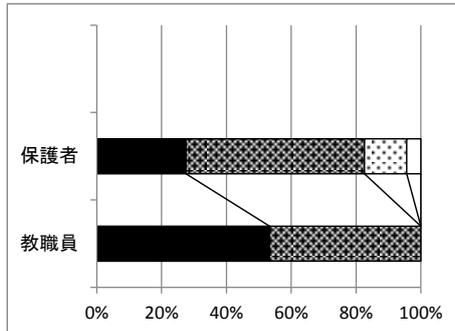
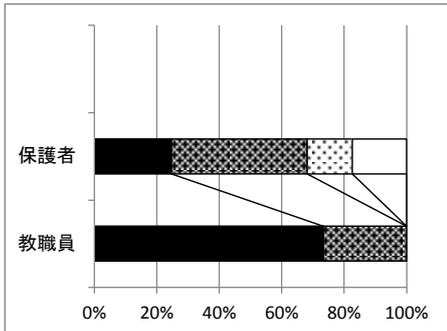
【1-3】 学校は、家庭への連携を積極的に行っている。



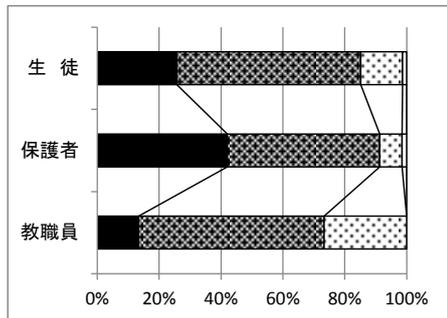
【1-4】 学校は、問題が生じた場合など、迅速に対応できている。

【1-5】 PTA活動など、家庭と学校の協力関係がある。

【1-6】 学校訪問者(保護者も含む)に対して、教職員の対応はよくできている。



【1-7】 学校の施設・設備は、安全で快適に生活できるように整えられている。



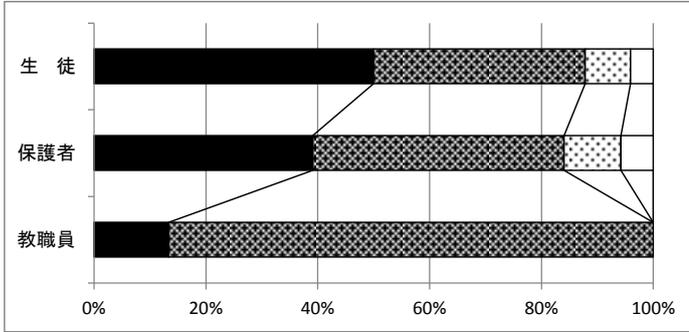
学校評価のアンケートは、保護者に加えて生徒および教職員にも実施しています。評価の項目については、生徒・保護者・教職員に対して、それぞれ同じ内容を質問し、比較できるようにしています。また、評価については、4段階の回答とし、設問に対して肯定的か否定的かの判断ができるようにしています。

1 学校に関する項目に対しては、全体的に生徒・保護者とともに「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」が約80%を超えており、学校の取組を概ね肯定的に捉えていることが分かります。しかし、【1-4】では、肯定的な捉えが少なく、教職員の取組がうまく保護者に理解されていない現状が見られます。昨年度と比較してみると、すべての質問事項で、保護者の肯定的な捉えの割合が低くなっています。生徒指導等諸問題の解決に取り組んでいる状況への理解が十分に図れていないことがそういった傾向に表れているのではないかと考えられます。

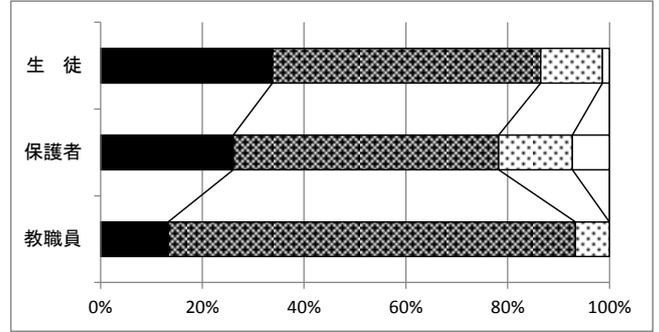


2 子どもに関する項目

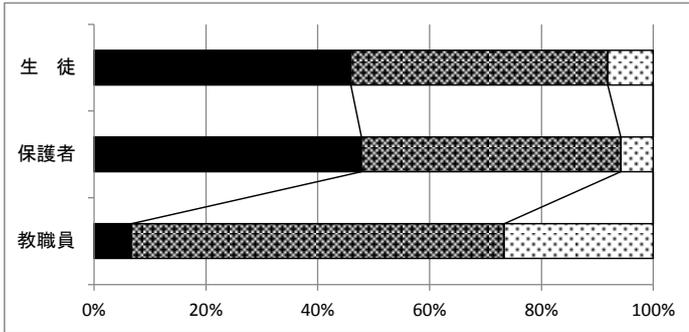
【2-1】子どもは、学校生活を楽しいと思っている。



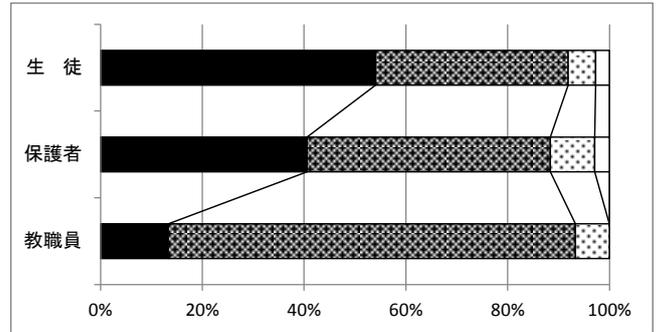
【2-2】子どもの学習意欲は向上している。



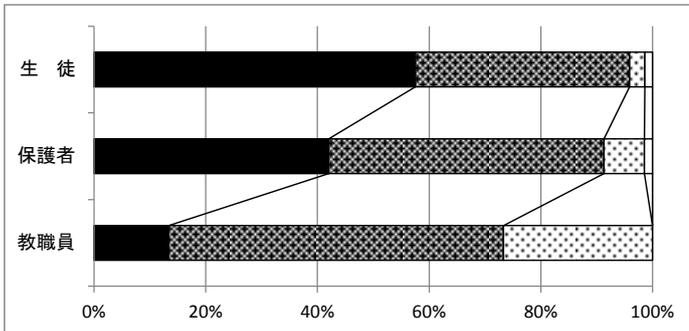
【2-3】あいさつなど社会的なマナーが身についてきている。



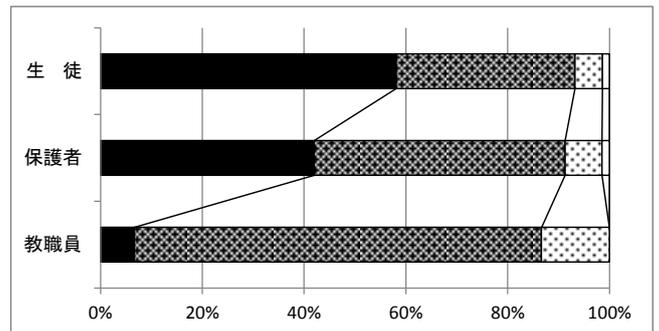
【2-4】子どもは、よい友人関係を作っている。



【2-5】他人を思いやる、命を大事にするなど、子どもの豊かな心が育ってきている。



【2-6】基本的な生活習慣が身についてきている。



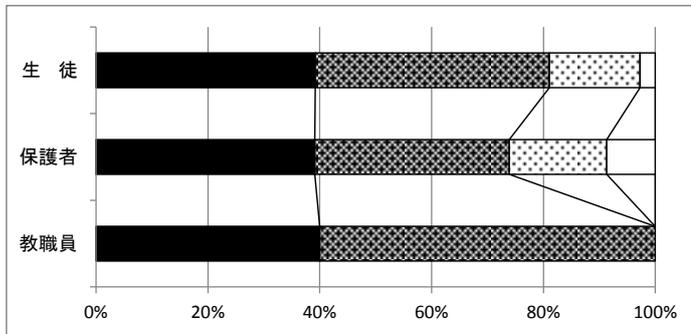
2 子どもに関する項目では、生徒・保護者とも「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の評価が多いことが分かります。しかし、教職員の評価はそれほど良くなく、「あてはまる」の割合が少なく、「どちらかといえばあてはまる」の割合が多くなっています。ここから、教職員のめざす子ども像の規準が生徒や保護者のそれと違っていることが理解できます。教職員が生徒に対して、より一層の成長を期待する意識の表れだと感じます。特に、【2-3】、【2-6】の質問については、「あてはまる」評価が低く、今後、教職員の共通理解を深めながら指導にあたっていかなければいけないと感じます。

昨年度の調査と比較してみると、それぞれの質問について、肯定的な評価に変化はありませんが、「あてはまる」の評価の割合が低くなっています。特に、【2-1】、【2-4】についての保護者の評価が低くなっています。友だち関係などの人間関係に不安を感じている意識がこの変化に表れているように感じます。

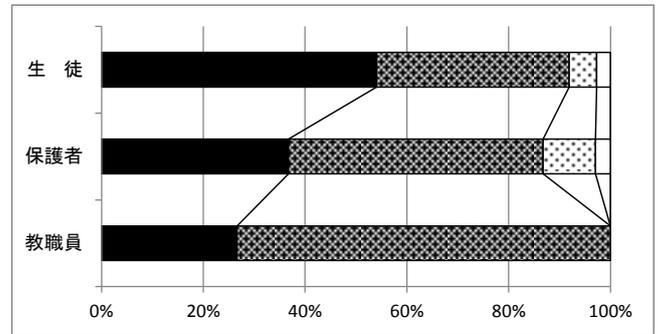


3 教員に関する項目

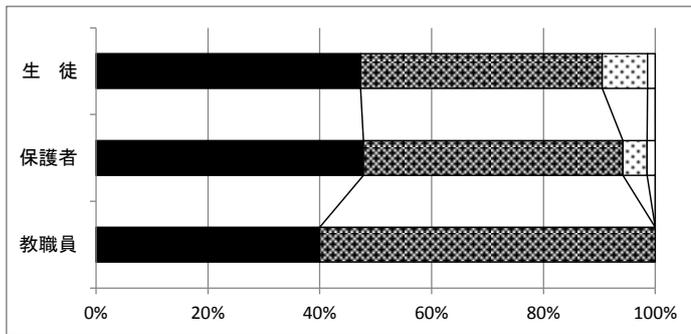
【3-1】先生は生徒(保護者)の意見, 相談をきちんと聞いてくれる。



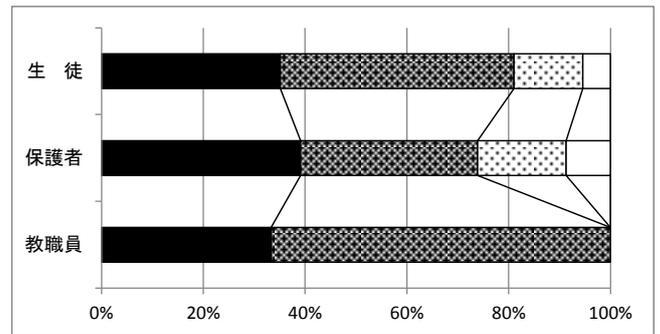
【3-2】先生は子どもの安全指導に努力している。



【3-3】先生は教室環境, 学校環境の美化に努めている。

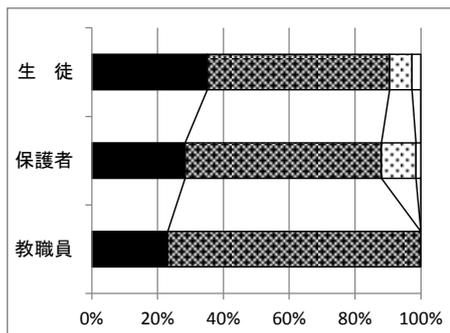


【3-4】先生は子どもたちの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。

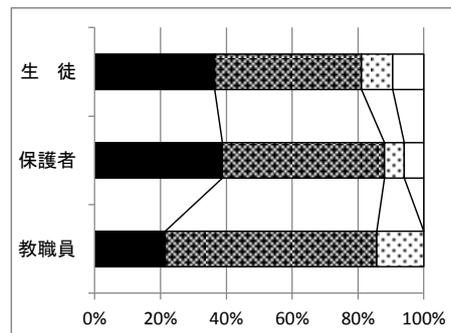


4 授業に関する項目

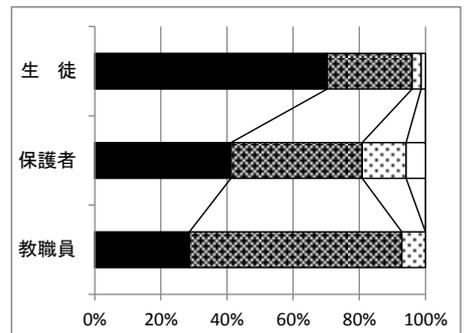
【4-1】指導方法を工夫し, わかりやすい授業が行われている。



【4-2】数学の授業が2名の先生で行われていることは, 学力向上に役立っている。



【4-3】「命の大切さ」や「人権」についての学習が十分行われている。



3 教員に関する項目について, 教職員の取組に関して, 概ね「あてはまる」, 「どちらかといえばあてはまる」の肯定的な評価が高くなっています。ただ, 【3-1】, 【3-4】について, 「どちらかといえばあてはまらない」, 「あてはまらない」の評価割合が一部の生徒・保護者から出されており, 教師に対する意識の厳しさが表れています。昨年度の評価と比較しても, 肯定的な評価の割合が少しずつ低くなっています。本校が抱える課題である生徒指導に関して, 昨年度より生活に一層けじめをつけた指導を一年間行ってきたことで, 教員が生徒らの意見を聞き入れていないと感じている生徒・保護者がいるのではないかと思います。保護者との連携を深め, 生徒への指導の充実を図りたいと考えています。

4 授業に関する項目については, 概ね肯定的な評価が表れています。しかし, 昨年度の調査と比較して「あてはまる」評価が低くなっており, 3 教員に関する項目とも関連しているように思われます。また, 【4-2】について, 一部の生徒・保護者から「あてはまらない」評価を出しており, 今後学力向上に向けて, 複数教員を配置した授業の良さを生かせるように授業改善に努めなければいけないと考えます。